

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2025 年 2 月 22 日
入試種別	: 大学院 (修士課程) 入学試験問題
学部・研究科	: 文学研究科 全専攻共通
科目名	: 日本語

【解答又は解答例】

問一 ア初頭 イ模型 ウ導入 エ必需品 オ富裕層

問二 a ちんれつ b まね c みやげ d たんしゆく e ふだん

問三 一定の時間内に客がどれだけ入店するかの割合。

問四 2

問五 先生の研究室を訪ねて質問したかったが、今さら聞きに行くのは敷居が高かった。

問六 ある事が起こることを予想して前から。

問七 初期の百貨店の顧客は上流階級だったが、1920 年代になると、上流階級だけではなく都市の大衆が顧客となった。特に関東大震災以降は、生活必需品の売り場を設けたりバーゲンセールを行ったりするようになり、百貨店は特別な日に家族と一緒に訪れる行楽の場となった。

問八 食品サンプルを置くことで、客が一目でどんな料理があるかがわかるようになり、特に、百貨店の食堂が家族連れに利用される空間になってからは、大衆に馴染みのなかった西洋料理の普及を促した。